

浦和大里小コミスクだより

令和8年度 第1号 令和8年5月

「令和8年度第1回学校運営協議会」が開催されました

令和8年度第1回学校運営協議会が5月14日（木）に開催されました。当日は、13名が出席し、本年度4月に着任した新しい校長の挨拶に始まり、さいたま市教育委員会教育長の発行した委嘱状・任命書が各委員に交付されました。続いて、会長・副会長各1名が選任されました。そして、会長の開会宣言のもと、協議に進みました。

社会の多様化によって子どもたちを取り巻く環境が大きく変化し、学校が抱える課題も複雑化・困難化しており、地域社会のつながりが希薄化する中で、学校と地域がパートナーとして連携・協働するための組織的・継続的な仕組みが不可欠となっています。

このような状況の中、浦和大里小学校は、令和4年度から「学校運営協議会」を設置した学校、いわゆる「コミュニティ・スクール」（「コミ・スク」と省略することもあります）として様々な課題に取り組んでいます。

「学校運営協議会」とは、主に学校運営への必要な支援に関して、熟議し、協働する合議制の機関です。「地域の子どもを地域みんなで育てよう」という理念のもと、地域住民や保護者等が学校運営への参画や学校運営への支援及び協力を促進することで、学校が地域住民や保護者等との信頼関係を深め、学校運営の改善及び児童の健全育成と地域の活性化に取り組んでいます。



「令和8年度 第1回学校運営協議会」概要

協議会では、まず、校長が作成した「学校運営に関する基本的な方針」の（1）学校経営計画に関すること（2）組織の編制に関すること（3）教育課程に関すること（4）予算の執行に関すること（5）施設設備に関することについて説明がありました。（1）については、「学校経営

ビジョン」を提示し、令和7年度の学校の自己評価や学校運営協議会での意見・要望・評価等を反映した「本年度の重点及び努力点」とその方策・手段の具体的な提示がありました。補足として、内谷中学校区小・中学校で進めている「小・中一貫カリキュラムの研究」の発表会や本年度から新たに取り組む「教育課程柔軟化サキドリ研究校」計画について触れられました。(4)については、事務主事が市からの配当予算通知概要と適正かつ計画的な執行への配慮事項を説明しました。委員の方からは、避難所運営と学校施設の安全管理、不登校児童支援の協力体制づくりに関する質問や意見がありました。最後に、「学校運営に関する基本的な方針」が全委員に承認されました。

次に、学校教育目標を踏まえ、「目指す子ども像を実現するための学校・家庭・地域・児童の取組について」の熟議が行われました。まず、3つのグループに分かれて意見交換、その後各グループからの発表という進行でした。主なご意見を紹介します。

こんな意見が出ました



- 子ども達に夢やあこがれを持たせたい、子ども達が高齢者とともに生活できる地域にしたい、育成会の事業にその思いを込めて企画してきた。今後も続けていく。
- 社会福祉協議会が主催の春休みの勉強会等は、自治会・育成会・民生児童委員等、各団体が協力して学校を離れても集団で活動する場を設けている。
- コミュニティの変化により 学校と地域との接点を大切にしなければならない。学校経営ビジョンの方策を実行に協力したい。
- 育成会の会員の高齢化、子ども会会員の減数、PTA 組織の存在の変化等、これまでの事業や活動を継続していくことは難しい。しかし、学校、家庭、地域、各団体関係が目標の実現に一体となっていける地域である。
- 学校と関係団体との連携は、児童会の呼びかけによる「あいさつ運動」を例にして、児童の考えを知る良い機会である。協力したくなる。
- PTA まつりや水かけまつりは、児童や保護者間の関係づくりも考え、企画していきたい。また、各団体とのコラボレーションも進めたい。

なお、当日は「第1回いじめ防止対策委員会」も開催されました。生徒指導主任より、児童の生活の様子と「令和8年度浦和大里小いじめ防止基本方針」を中心として、説明がありました。